

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 2 月 12 日作成)

小委員会名	水環境憲章小委員会		主 査 名：長尾 良久 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (水環境運営委員会)		委員長名：井上 勝夫 主 査 名：小瀬 博之
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2008 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建物を中心とした水環境・給排水設備に関する基本となる考え方、水環境を展望した際の視点などを建築業務に携わる人たちに向けたわかりやすい文書を作成する。 ・ 今年度の活動計画：文書の完成と発信。 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浅野良晴(信州大学) ・ 大塚雅之(関東学院大学) ・ 小瀬博之(東洋大学) ・ 高地進(ピ・エー・シー環境エト) ・ 黒岩哲彦(アルキテクタ)・ 加藤篤(日本トイレ協会) 長尾良久(東陶機器) <p style="text-align: right;">計 7 名</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2007 年度予算	68,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 環境工学者名簿の方への意見募集を実施
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 委員会における文案の修正 2. 環境工学者名簿の方への意見募集により得た意見による文案修正 ...文書完成に向けた文案内容の充実
委員会活動の問題点・課題	次年度新設委員会「健全な水環境の形成検討小委員会」にて活動する。 1. 学会員を中心とした方への意見募集 2. 「建物とその周辺における健全な水環境の形成に関する考え方」の完成 3. 情報発信方法の承認と発信

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

2007 年度 小委員会活動 自己評価

(最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A B C D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<p>「建物とその周辺における健全な水環境の形成に関する考え方」について、環境工学者名簿の方への意見募集を実施し、当小委員会にて検討してきたものを伝達することができた。また、いただいたご意見として、内容的に問題視された意見はなく、文案に対しそれなりの理解と評価をいただけたものとする。今後、他の学会等、対象を広げての意見募集を行い、文書を完成させ、発信する予定で活動を進める。</p> <p>当小委員会の活動期間中には、完結することはできなかつたが、来年度新設の「健全な水環境の形成検討小委員会」にて活動を継続する。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。